

コンタクトレンズを装着している患者様へ

**MRI 検査時には、
体（目）に対する危険を回避するため、コンタクトレンズを
外していただきますよう、ご協力をお願い致します。**

MRI 検査時におけるコンタクトレンズの危険性について

厚生労働省医薬食品局安全対策課に提出された安全性情報報告書によると、以下のような事例が報告されています。

MRI 検査を受けた女性が、眼瞼痙攣また眼球吸引様違和感があり、検査終了後にも若干の違和感があり、眼科にてフォローを行った。

コンタクトレンズの中には、酸化鉄などの金属を含むものがあり、装着したまま MRI 検査を受けると、発熱による角膜上皮障害や眼球への障害（視力障害）の可能性がある。

コンタクトレンズの添付文書には、MRI 検査時にはレンズをはずす様に記載されています。

またコンタクトレンズには、薬事対象品としての視力矯正用コンタクトレンズと、薬事対象外の度数なしコンタクトレンズ（おしゃれ用カラーコンタクトレンズ）があり、厚生労働省の見解としては、前者については薬事法上の責任は持ちますが、後者に関しては対象外として関与しないので、関係業界や医療機関が独自に対応する必要がある、としています。

当院といたしましては、患者様の安全確保を徹底する必要があり、また危険性を回避し安全な検査を提供する義務もあることから、100%の安全を確認できていない現状においては、コンタクトレンズのメーカー・種類に関係なく、MRI 検査時にはコンタクトレンズをはずしていただけますよう、お願い致します。ご協力を、よろしくお願い致します。

ご不明な点や詳細は担当スタッフにお尋ね下さい。